

陳情第4号

米軍Xバンドレーダー基地問題等に関わる陳情書 17

下記の者から別紙要旨による陳情書を受理したから、議会の審議に付する。

記

陳情者 京丹後市 XXXXXXXXXX  
米軍基地建設を憂う宇川有志の会  
代表 増田光夫

令和2年6月12日 提出

京丹後市議会議長 金田 琮 仁

令和2年第3回京丹後市議会6月定例会  
陳情文書表

- 1 件 名 米軍Xバンドレーダー基地問題等に関わる陳情書 17
- 2 受理年月日 令和2年6月1日
- 3 受理番号 第4号
- 4 陳情者 京丹後市■■■■■  
米軍基地建設を憂う宇川有志の会  
代 表 増 田 光 夫
- 5 陳情の要旨等 別紙のとおり
- 6 付託委員会 総務常任委員会



2020年6月1日

京丹後市議会

議長 金田 琮仁 様

627-0233 京都府京丹後市  
米軍基地建設を憂う宇川有志の会  
TEL

代表 増田 光夫

### 米軍Xバンドレーダー基地問題等に関わる陳情書 17

京丹後市では、4月26日投票で市長・市議会議員選挙が行われました。市議会議員選挙では27名もの立候補者があり、激戦を制した20名の皆様による新議会が誕生しました。議員の皆様には祝意と期待の気持ちを表明したいと思います。

本市丹後町の米軍基地が本格的に稼働してから5年5ヶ月が経過しました。宇川の住民にとって《寝耳に水》のような2013年2月24日の新聞各紙の報道は、今も記憶に新しいところです。この時の、地区住民の戸惑いと不安混乱は、3月11日の住民説明会（宇川小学校会場、230人参加）が示しています。

そうした経過の中で、私たちの標記の「憂う会」（略称）は自発的に誕生しました。

この基地の建設・稼働に対しては、あらゆる面での「住民の安全・安心の確保」が前提となっていることはご存知の通りです。

しかし、この7年間に振り返りますと、当初の住民感情に即した対応が放棄されたのではないかという思える問題が発生しています。

新議会のスタートにあたり、宇川の「米軍基地」の前提であった「安全・安心の確保」のためにご努力していただくことを祈念して、下記の諸点について《陳情書》を提出するものです。

#### 記

##### ① 米軍基地問題に対する市の姿勢について

米軍基地問題に関わって2018年頃より当初の米軍・防衛省との約束が形骸化される傾向が顕著になっております。2018年2月から1年以上に渡る事故情報の提供拒否、それに続く2019年3月の事故情報開示内容の一方的変更などはその典型例です。ところが、市民の側に立つべき市当局はその変更を無批判に「容認」し、住民への説明

責任も果たしていません。市当局がこのような米軍・防衛省への消極的な姿勢を正し、問題や約束違反に対して毅然とした態度を取るよう強く求めていただきたい。

② 事故情報の開示について

①の事故情報開示の件について、当初の約束通り全ての米軍関係者の事故についての情報を明らかにするよう米軍・防衛省に求めていただきたい。

③ 「二期工事」に関わる諸問題について

- ・当初やらないとされていた「土曜工事」が昨年に引き続き今年もほぼ毎週やられています（休んだのは 1/4 と 5/2 だけ）。工事はあくまでも「月曜から金曜」というのが基本の約束です。土曜日の工事を一日でも減らすよう求めていただきたい。
- ・警衛棟や汚水処理施設など、工事計画図や説明にない施設が今年に入ってから次々に作られています。昨年来の工事の進捗状況も全く知らされていません。しっかりと事前説明がなされるよう、強く求めていただきたい。
- ・基地施設の下水の最終排水口の場所と排水方法について、地元関係者も含め、環境への影響のないものかどうかを現地視察も行ってしっかり確認していただきたい。
- ・安全対策のため正式のゲートを作るとして取得された三角地は、現在米軍の敷地の一部となり「二期工事」の管理施設として利用されています。この地のゲート建設計画はどうなっているのか確認し、それが無いのならば土地の返還を求めていただきたい。

④ 「安安連」23 について

昨年11月下旬の第22回安全安心連絡協議会（以下「安安連」と略）以降、新型コロナウイルス関連のこともあり、「安安連」が半年以上に渡って開催されていません。それによって基地関係の情報が途絶えています。早急に「安安連」23を開催することと、この間の情報を提供するよう米軍、防衛省に求めていただきたい。

⑤ 米軍の新型コロナウイルス対策について

米軍関係者は日米地位協定の特権によって日本への出入国に日本側のチェックが入りません。米本国並びに米軍内部の感染拡大が広がる中、米軍基地関係者の新型コロナウイルスに関わる情報と感染予防対策はどうなっているのか、5月27日には渉外知事会（京都府知事も所属）が政府に緊急の申し入れをしたところです。京丹後市においても、経ヶ岬米軍基地のこの件に関わる情報と感染予防対策について米軍・防衛省に確認し、その万全を期すよう申し入れていただきたい。

⑥ 日米地位協定見直しについて

全国知事会が2018年7月に「地位協定の抜本的な見直しの提言」を決定（全会一致）しました。また渉外知事会は「地位協定改定の交渉を速やかに始めること」を「特別要望」で政府に求めています。それらを受け、全国で多くの道県、市町村が（今年4月1日現在で9道県180市町村）この件での意見書を政府に提出して

います。

京丹後市は、昨年7月2日の防衛施設周辺整備全国協議会へ7項目の要望を提出しましたが、そのことを主な理由として議会は8月30日に同様の意見書を提出することを拒否しました。

全国協議会への要望は全国知事会のように「地位協定見直し」を正面から扱ったものではなく、西脇京都府知事の意向にも遠く及ばない不十分なものです。

新議会で再考され、米軍基地を抱える自治体として主体性を発揮し「日米地位協定の抜本的な見直し」を求める行動を起こしていただきたい。

- ⑦ 米軍基地稼働3年を経た一昨年より、米軍、防衛省の約束無視が顕著になり、昨年来その傾向が更に強くなっています。一方で市当局のそれに物を申せない弱腰の対応が続いてきました。基地建設の大前提であった「住民の安全・安心の確保」が大きく脅かされています。この実態をしっかりと受け止めていただき、米軍基地に関する諸問題の改善に向けて引き続いてのご努力をお願いしたい。

以上